

## 解答

一

問一	A	ウ	B	ウ
問二	エ			
問三	イ			
問四	エ			
問五	ア			
問六	ウ			
問七	エ			
問八	イ			

二

問一	A	ウ	B	ア	C	オ	D	イ	E	エ
問二	小さくない									
問三	ア									
問四	能動と受動の混合									
問五	エ									

問六 2は、人間の本能にかかわる原初的なもので、言葉によって論理的には説明することができない次元のもの、5は、どんなに言葉を積み重ねても完全には説明し尽くすことができない複雑なものであるということ。

三

問一	1	エ	2	ア	3	エ	4	エ	5	イ
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 解説

一

問二 第二段落に着目します。入学当時、銭湯へ行くのにも学校の制帽を被り、袴をつけ、窓硝子に映る姿に笑いながら会釈する様子から、「喜び」、「期待」、「意気揚々」という語を含む、選択肢エの心情が読み取れます。傍線4の直前に「ばかげたことを話し合っている」とあり、「次元の低い会話をしている」という選択肢アの内容と一致します。

問八 本文では、中学校への合格、入学式、試験、はじめての帰郷などの様子が描かれ、私の行動、思いなどがその都度表現されているので、選択肢イが適切です。

二

問二 ㊦の段落の内容に着目すると、本文はじめにある「たとえば、」から始まる段落と、同じ内容であることがわかります。そこで、「違い」という言葉につながる適当な語を探すと「小さくない」がふさわしいとわかります。

問七 本文はじめ「坂部恵氏の指摘」から始まる段落、中盤にある「坂部氏の言葉」から始まる段落の内容が、選択肢アと一致します。また、中盤の「わたしたちは、」～「必要の動作にちがいない」の部分では選択肢オの内容を述べています。その他の選択肢は筆者の考えと合いません。